# Mizuho Bangkok Daily Market Report

## Dated of 2022/04/20

#### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.80	0.10
JPY/THB	0.2622	-0.0032
USD/JPY	128.91	1.92
EUR/THB	36.47	0.12
EUR/USD	1.0788	0.0006
USD/CNH	6.419	0.042
SGD/THB	24.71	-0.04
AUD/THB	24.94	0.16
USD/INR	76.50	0.23
USD Index	100.96	0.18

#### Bond

3.00

2.75

2.50

2.25

2.00

1.50 1.25

1.00

20000

15000

10000

5000

-5000

-10000

-15000

-20000

0

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.973	0.026
10Y (THB)	2.692	0.016
5Y (USD)	2.917	0.128
10Y (USD)	2.936	0.083

5Y Bond (Blue:THB, Red: USD)

Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)

15/12/2021 14/01/2022 13/02/2022 15/03/2022 14/04/2022

#### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,955.7	-27.2
WTI (Oil)	102.56	-5.65
Copper	10,304.5	-10.5

#### Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,675.62	7.56
NIKKEI (JP)	26,985.09	185.38
DOW (US)	34,911.20	499.51
S&P500 (US)	4,462.21	70.52
SHCOMP (CN	3,194.03	-1.49
DAX(GER)	14,153.46	-10.39

### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,372	2536.3
Bond net flow	(2,184)	-4434.8
	1 1.1	

\*compared with previous day

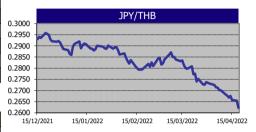




15/12/2021 14/01/2022 13/02/2022 15/03/2022



**MIZUHO** 







# Yesterday's market summary

## ●ドルバーツ

昨日のドルバーツは33後半で取引を開始。米金利上昇や原油価格の上昇がタイバーツの重しとなり、ドルバーツは上下しながらも下値を切り上げる動きとなっ た。海外時間、ウクライナでの戦闘が予想以上に長期化している事に加え、米住宅系指標が予想を上回り、米国インフレのアップサイドリスクが意識される状況 に米金利が上昇。ドルバーツは3月下旬以来の33.80レベルで引けた。

14/04/2022

## ●ドル円その他

昨日のドル円は127円前半で取引を開始し、円売りの流れが続く中で128円台に到達。日本の政府高官から円安牽制発言が続いたが、反応は限られ、アジア時 間終盤には128円半ば近辺へと円安が進行。海外時間、日銀が介入に動くことはないとの見方から円売りが収束する気配がなく、フローに押される格好で129円 手前まで上昇。米金利の上昇もあり、ドル円は約20年ぶりの円安水準を維持して終えた。

## Bangkok Dealer's Eye

ドル円が129円台へと上伸しました。鈴木財務大臣はデメリットをもたらす面が強いとの見解を示すも影響はほとんどなく値を上げています。日米の明確な金 融政策差および米金利の上昇による金利差拡大が足元の円安を誘導しており、日銀がハト派スタンスを継続する限りにおいては、このトレンドは変わらない

いがたぶいよう。 タイも低金利政策を継続する国ですが、こちらは若干日本とは状況が異なると理解しています。タイのインフレはすでに目標レンジを上回っている状況下、 引き締め政策へと動くための必要条件としている経済回復は海外からの旅行者に対する制限の緩和も進んできており徐々にパスが描けるようになっている ことが日本とは違うのだと思います。またバーツの金利はドル金利の動きと相関が高く、金利差拡大が限定的という点から極端なバーツ安とはならないのだ と考えます。ただ、グローバルにドル買いトレンドがでている状況下、ドルバーツも34ちょうどをトライするかどうか警戒したいところです。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.